



個の力を活かして組織の未来を創る

東京開催 全6講

リーダーシップ

我々を取り巻くビジネス環境は激しい変化に見舞われ、今までの常識が通用しない複雑・多様化が進んでいます。このような状況において成功を収めるためには、一方的に人に影響力を行使するリーダーシップでは、組織が直面するさまざまな課題に対して十分な対応はできません。

今必要なのは、個の力を活かし、皆で組織の未来を創っていくための“変化をもたらすリーダーシップ”という概念です。



わたしたちは、21世紀の新しい未来を創る能力を持ったリーダーを養成することを目的として、米国シアトルワシントン大学におけるリーダーシップ教育の第一人者、パトリック・ベティン教授と提携して、教授が開発したリーダーシップ教育プログラムを利用し、本格的なリーダーシップ研修を15年前から開催してきました。多くの方が本メソッドによってリーダーシップを学ばれ、活力溢れる組織づくりに活かされています。

本研修にご参加のひとり一人がリーダーとしての自覚を高め、素晴らしいリーダーとして21世紀の組織、企業、日本、そして世界を担っていただきたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日程 13:30～18:00 全て土曜日

第1講	08月22日	第4講	10月24日
第2講	09月12日	第5講	11月14日
第3講	10月03日	第6講	12月05日

参加費 200,000 円 (税込)

※内訳：174,000円+教科書代 26,000円

会場 東京駅近辺の予定

定員 9～18名

※9名に満たない場合には開催できないこともありますので予めご了承ください。

プログラム内容

第1講 今の時代に求められる効果的なリーダーシップのモデル

時代変遷とリーダーのあり方。リーダーに求められる資質・能力とは？リーダーシップとマネジメントの違いとは？リーダーシップの基本を学ぶ。

第2講 企業理念

我が社の信じるもの、使命、そして目指す未来。全社一丸となるための鍵は理念にあります。

第3講 リーダーシップ体感シミュレーションゲーム「村祭り」

理論と実践。リーダーシップはこの両輪を回すことが学習の肝です。自身のリーダーシップをフル動員しましょう。

第4講 ダイナミックリーダーシップ

状況にあわせてダイナミックにリーダーシップのあり方を変える。その柔軟性がリーダーには欠かせません。

第5講 企業文化

企業内部の思考や行動の源となる暗黙の了解。未来を創る建設的な文化を創るためにリーダーがすべきこととは。

第6講 意思決定・変化をリードする

意思決定は、どうやって決めるかを決めるのが大切。誰をいつ巻き込むか？組織に変化を起こしていく時に気をつけるべきこととは？



講師

全6講を3名の講師が担当します。いずれもベティン教授の薫陶を受けて以来16年、日々実践と研鑽を積み重ね、多くの参加者のリーダーシップ開発をサポートし続けています。



藤原 直哉

1・2講

株式会社あえるば 代表取締役会長 経済アナリスト

1960年東京都生まれ。東京大学経済学部卒業後、住友電気工業株式会社入社。電線ケーブルの海外輸出業務および企画部門に従事。1985年、経済企画庁経済研究所出向。世界経済モデルを使ったイタリア、日本および米国の短期経済予測、構造分析、計量経済分析の信頼性向上のための研究に従事。1987年、ソロモン・ブラザーズ・アジア証券会社入社。投資戦略調査部で債券・株式の数理分析に従事。特にオプション、スワップなどの金融デリバティブ商品、市場のベンチマークとしてのインデックス、および米国のモーゲージ担保証券に関する広範囲な研究・業務に従事。1996年、シンクタンク藤原事務所（あえるばの前身）設立。現在に至る。「経済」「政治」「国際情勢」「組織のリーダーシップ」に関する独自の分析を行い、各地で講演、研修、コンサルティング、社内教育、執筆活動を行っている。約20年間に渡り毎週発行している「ワールドレポート」は多くの読者に好評。また、認定NPO法人日本再生プログラム推進フォーラムの理事長として、健康で持続性の高い日本の再生に向けて政策提言、啓蒙活動も行っている。

株式会社あえるば 代表取締役社長

1973年大阪府生まれ。大学卒業後、正社員、アルバイト、派遣社員、個人事業主など様々な場所で様々な人と様々な形態の働き方を経験。そこから得た「仕事は何をするかよりも、誰とするかが大事」という教訓を自身の活動の中心に据えている。2010年にシンクタンク藤原事務所（現あえるば）2代目社長に就任。2012年、米国ワシントン大学の経営大学院Global Business Center Visiting Executive Program短期留学を修了。現在は、各地でのリーダーシップに関する講演、研修、企業内での幹部育成に携わる。

また、過去に統計士、データ解析士（財団法人実務教育研究所認定）を取得し、統計講座を開催。現在は従業員満足度アンケート調査を手がける。著書に「実践 統計分析の基礎—知れば知るほど役に立つ」2005年万来舎刊がある。



長谷川 孝

3・4講



鬼澤 慎人

5・6講

株式会社ヤマオコーポレーション 代表取締役

1962年茨城県水戸市生まれ。1985年に上智大学経済学部経営学科卒業後、株式会社第一勧業銀行、米国投資銀行ソロモン・ブラザーズにて、金融のプロフェッショナルとして活動。

その後、地元茨城県に戻り、茨城県大同青果株式会社を経て、2000年に独立。現在に至る。1998年に経営品質の考え方に出会い、ひとりから茨城県内での経営品質普及活動を展開し水戸経営品質研究会を設立。その後、賛同する仲間や企業を集めて2000年に茨城県内企業90社の参加を得て茨城県経営品質協議会を設立し代表幹事となる。2003年にはさらなる活動の展開をめざして特定非営利活動法人（NPO法人）茨城県経営品質協議会となり代表理事に就任（2010年より理事）。現在は茨城県内だけでなく、全国各地での経営品質の普及・支援活動に積極的に取り組んでいる。専門分野は「経営品質」と「リーダーシップ」。

また民間だけでなく、行政に対しても地元茨城県をはじめ多くの地方自治体で行政経営改革、組織変革、人材育成の支援を続けている。

<要職> 一般社団法人地域経営推進センター理事、NPO法人茨城県経営品質協議会理事、NPO法人雇用人材協会理事、認定NPO法人日本再生プログラム推進フォーラム理事、ローカルマニフェストいばらき推進ネットワーク代表、茨城大学理学部非常勤講師、「あしたの学校」副代表（生徒会長）、水戸オセロプロジェクト代表 <著書> 「経営品質向上テキスト」共著（生産性出版）他



Dr. Patrick J. Bettin

リーダーシップならびにマネジメント啓発の分野で国際的に知られ、尊敬を集めているコンサルタント、研究者、教育者。現在、ワシントン大学の非常勤ポストに就いており、ビジネス・スクールにおけるエグゼクティブ・プログラムに対しては1997-98年「優秀講義賞」が贈られている。ウェスト・ポイント合衆国陸軍士官学校の教壇に立っていた当時も、やはり抜きん出た講義力が評価され、教授陣の上席メンバーとして、リーダーシップならびにマネジメント効率化プログラムの開発、コーディネーター、教育、監修に重責を果たした。

お申込

■必要事項ご記入のうえ（株）あえるば（FAX:0465-44-4751、info@aeruba.co.jp）宛にお送りください。

ふりがな お名前		TEL	
貴社名 役職名		FAX	
ご住所	〒	Mail	